

令和5年度 自己点検・評価結果報告書【施設管理】

推進責任者：理事（総務・財務・施設担当）

1. 自己点検・評価の実施概要及び判定結果

自己点検の観点	自己点検項目	評価項目番号	評価項目・実施方法	実施時期	エビデンス (※)：大学機能別認証評価と同じ資料	判定結果
①施設の整備状況	教育研究活動を展開する上で必要な施設を大学設置基準に基づき整備していること	①-1	校地・校舎の基準面積について、設置基準で規定されている面積に係る基準を満たしていること。	6年毎	今年度は評価対象外（次回評価実施時期：令和9年度）	
		①-2	施設について、大学設置基準に規定されている「校地、運動場、体育館、研究室、講義室、演習室、実験・実習室、情報処理学習のための施設、語学学習のための施設その他の施設等」について確認する。	6年毎	今年度は評価対象外（次回評価実施時期：令和9年度）	
		①-3	共同課程を置いている場合は、その状況が該当する設置基準を満たしていることを確認する。	6年毎	今年度は評価対象外（次回評価実施時期：令和9年度）	
		①-4	空地の代替措置及び運動場の代替措置を適用している場合は、その状況について分析する。	6年毎	今年度は評価対象外（次回評価実施時期：令和9年度）	
		①-5	夜間において授業を実施している課程又は大学院において大学院設置基準第14条の特例を適用している場合は、これら施設の利用方法、利用時間等を確認する。	6年毎	今年度は評価対象外（次回評価実施時期：令和9年度）	
		①-6	2以上のキャンパスで教育を実施している場合は、それぞれの校地ごとに教育研究に支障のないよう必要な施設を整備しているかを確認する。	6年毎	今年度は評価対象外（次回評価実施時期：令和9年度）	
	大学設置基準で定める実習施設等が設置されていること	①-7	特定の学部又は学科に置かれる組織について、大学設置基準第39条に基づき設置が必要とされる附属学校や附属病院等が設置されていることを確認する。	6年毎	今年度は評価対象外（次回評価実施時期：令和9年度）	
	自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること	①-8	自主的学習環境の整備状況（部屋数、机、パソコン等の台数等）については、その環境を必要とする学生が効果的に利用できるような状態になっていることを確認する。 ※自主的学習環境の整備等、特色ある学習環境の構築により成果が得られている場合は、その内容について確認する。	毎年	① 別紙様式4-1-6 自主的学習環境整備状況一覧(※)	適切である
②施設の安全性の状況	施設における安全性について、配慮していること	②-1	施設における耐震化について、評価実施年度の耐震化率を確認する。	毎年	② 別紙様式4-1-3 施設の耐震化、バリアフリー化等の整備状況(※) ③ 耐震化率（施設実態報告書より抜粋）(※)	適切である
		②-2	耐震基準を満たしていない場合は、その理由と改善のための計画について確認する。	毎年	該当なし（耐震化完了済）	
		②-3	施設の老朽化に対する対応の状況について確認する。	毎年	② 別紙様式4-1-3 施設の耐震化、バリアフリー化等の整備状況(※) ④ 団地毎要改修率（黒髪・本荘・大江）(※) ⑤ インフラ長寿命化計画（個別施設計画）(※) ⑪ 意見聴取結果及び対応状況一覧	適切である
		②-4	外灯や防犯カメラの設置等、各大学固有の事情等に応じて安全・防犯面への配慮がなされていることを確認する。	毎年	② 別紙様式4-1-3 安全・防犯面への配慮の状況(※) ⑥ 外灯配置図（黒髪・本荘・大江）(※) ⑦-1 防犯カメラの管理及び運用に関する規則(※) ⑦-2 特定防犯カメラ設置機器一覧（集計） ⑧-1 危険箇所の周知 参考メール（不具合発生）(※) ⑧-2 危険箇所の周知 参考メール（不審者情報）(※) ⑧-3 危険箇所の周知 参考メール（工事のお知らせ）(※) ⑪ 意見聴取結果及び対応状況一覧	適切である
		②-5	施設のバリアフリー化について、利用者が円滑に利用できるよう配慮がなされていることを確認する。	毎年	② 別紙様式4-1-3 施設の耐震化、バリアフリー化等の整備状況(※) ⑨-1 バリアフリーマップ（黒髪）(※) ⑨-2 バリアフリーマップ（本荘、大江）	適切である
		②-6	その他施設に法令上の要件が課されている場合は、適切な管理運営の状況を確認する。	毎年	⑩ 設備等法令点検結果及び対応状況一覧	適切である

2. 結果総括

【優れた点】 ・特になし
【改善を要する点】 ・特になし